

2023年(令和5年)3月15日(水曜日)

燃料に点火してミニ気球を飛ばす児童



なぜ気球は飛ぶ？

池田で科学体験塾

児童7人参加

【池田】「第10回わんぱく体験塾『おもしろサイエンス』ミニ気球を作ろう！」(池田町教委主催)が4日、町西部コミュニティセンターで開かれた。参加した池田小学校の児童7人は、熱した空気が軽くなる仕組みを、ビニール袋を使って実験した。

NPO教育支援協会北海

道(帯広市)の内山昂子指導員が講師を務めた。内山さんは「実験を通し、工夫することや火の危なさを知ってほしい」と作業工程を説明。実際に気球を飛ばし、気球の原理や視覚を通して火の危険性を伝えた。

児童は45秒のごみ袋に好きな絵をフェルトペンで描き、気球を制作。燃料に点火して徐々に膨らむ袋と浮き上がっていく様子を体験した。

2人で取り組んだ3年の小野寺祐樹君(9)と中西陸君(同)は「実験は面白かった」「持つところが熱かったけど、温めると飛ぶことが分かった」と話していた。(水上由美通信員)